

平成 25 年 度 事 業 報 告 書

社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会

社会福祉法人ひょうご障害福祉事業協会
平成 25 年度事業報告

I 本部事業

平成 25 年「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（通称：障害者差別解消法）が公布された。障害を理由とする差別などの権利侵害行為の禁止、社会的障壁の除去を怠ることによる権利侵害の防止、国による啓発・知識の普及を図るための取組をすすめることで、差別の解消を推進し、それによりすべての国民が、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資することを目的としている。

法律ができたからといって、すぐに障害を理由とする差別がなくなるものではない。私たち一人ひとりがその意味を理解し、法人の活動の中に生かされないといけない。法人としても理念の明文化を図っている時でもあり、その意味が盛り込まれた理念にしたいと思い、すすめた。

法人の福祉活動は、「はりま自立の家」「はんしん自立の家」「しそう自立の家」「かるがも園」の 4 つのエリアで実施しているが、どのエリアでも新卒の職員の確保が難しく、また退職職員の補充も難しい状況だった。当法人に限らず、全国的な問題で、介護と建設関係はとくに人材が不足している状況である。少子高齢化にともない、ますます求人は困難になるため、専門職員だけでなく、いろいろな人が関わって、人の命を守っていかなければならないと感じた年だった。

1 施設運営

「はりま自立の家」「はんしん自立の家」「しそう自立の家」「かるがも園」ともに大きな変化はなく、運営を行った。

2 財務全般

平成 25 年度は前年以上の寄付金が集まった。「はりま自立の家」隣地の購入をした。剰余金は残すことが出来た。「はりま自立の家」「はんしん自立の家」「しそう自立の家」も剰余金を残すことができ、その中から、将来に備えて修繕積立金を設けた。「かるがも園」は職員の充足ができず、三田市に指定管理料の精算返戻をした。

3 施設・設備整備

各施設とも年数が経つにつれ、修理・修繕の箇所が多くなってきた。大規模な改修工事は

なかった。将来のために修繕積立をした。

4 理事会運営

第1回 平成25年5月21日（火） 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席役員 理事4名、監事2名

議案 1. 平成24年度事業報告の認定 2. 平成24年度財産目録 貸借対照表
収支計算書の認定 3. 諸規則の変更について 4. 各種補助事業について
5. その他

第2回 平成25年9月9日（月） 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席役員 理事4名、監事2名

議案 1. 平成25年度第1次収入支出補正予算の認定 2. 諸規則の変更について
3. 各種補助事業について 4. その他

第3回 平成26年1月21日（火） 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席役員 理事5名、監事1名

議案 1. 平成25年度第2次収入支出補正予算の認定 2. 定款変更について
3. 諸規則の変更について 4. 各種補助事業について 5. その他

第4回 平成26年3月27日（木） 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席役員 理事4名、監事2名

議案 1. 平成25年度第3次収入支出補正予算の認定 2. 平成26年度事業計画
の認定 3. 平成26年度収入支出予算の認定 4. 評議員の選任について
5. 各種補助事業について 6. その他

5 評議員会運営

第1回 平成25年5月21日（火） 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席 評議員7名

議案 1. 平成24年度事業報告の審議 2. 平成24年度財産目録 貸借対照表
収支計算書の審議 3. 諸規則の変更について 4. その他

第2回 平成25年9月9日（月） 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席 評議員8名

議案 1. 平成25年度第1次収入支出補正予算の審議 2. 諸規則の変更について
3. 各種補助事業について 4. その他

第3回 平成26年1月21日（火） 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席 評議員12名

- 議案 1. 平成 25 年度第 2 次収入支出補正予算の審議 2. 定款変更について 3. 諸規則の変更について 4. 各種補助事業について 5. その他

第 4 回 平成 26 年 3 月 27 日 (木) 於 神戸ベイシェラトンホテル

出席 評議員 11 名

- 議案 1. 平成 25 年度第 3 次収入支出補正予算の審議 2. 平成 26 年度事業計画の審議 3. 平成 26 年度収入支出予算の審議 4. 各種補助事業について 5. その他

6 監事活動

監事監査 平成 25 年 5 月 19 日 (日) 於 「はんしん自立の家」

7 海外チェンジャーホームとの交流及び国際交流

ラティテュード・ボランティアの受け入れ

平成 25 年 3 月～8 月

「はりま自立の家」「しそう自立の家」にイギリスより 2 名

「はんしん自立の家」にイギリス・カナダより 2 名

平成 25 年 9 月～平成 26 年 2 月

「はんしん自立の家」にイギリスより 2 名

平成 26 年 3 月～現在

「はりま自立の家」にオーストラリアより 1 名

「はんしん自立の家」にオーストラリア・カナダより 2 名

8 研修及び施設連絡会議、その他活動

新会計移行にむけての勉強会

平成 25 年 4 月 10 日 6 月 28 日 於 「はんしん自立の家」

内 容 社会福祉法人会計とは 決算書の見方

参加者 各 10 名

新入職員辞令交付式ならびに合同宿泊研修

平成 26 年 3 月 28 日～29 日

内 容 辞令交付と理事長研修 施設を見学

参加者 15 名

ケアマネジメント勉強会

内容 計画相談の活用、ケアプランのあり方、地域包括ケアをめざして

講師 柿木 達也 先生

場所 「はんしん自立の家」

25年7月21日、8月25日、9月22日、10月13日、11月17日、
26年1月19日、2月16日、3月23日

法人合同中堅リーダー研修

講師 LLC（合同会社）チーム経営 長尾文雄先生 博野英二先生
場所 「はんしん自立の家」
25年10月1日、10月22日、11月26日、12月24日、
26年1月28日、2月25日

法人管理職研修（理念の明文化）

講師 LLC（合同会社）チーム経営 長尾文雄先生 博野英二先生
場所 「はんしん自立の家」
25年10月24日、12月19日、26年1月30日、3月13日

施設連絡会議 法人理事長、理事、全施設長と幹部職員が各施設で当面する問題を定期的
的に協議し、その後施設を見学し、自主点検を行った。

平成25年4月10日	「はんしん自立の家」
平成25年5月7日	「はりま自立の家」
平成25年6月11日	「しそう自立の家」
平成25年7月17日	「かるがも園」
平成25年10月24日	「はんしん自立の家」
平成25年12月19日	「はんしん自立の家」
平成26年1月30日	「はんしん自立の家」
平成26年3月4日	「はりま自立の家」

9 調査研究事業

三田土地利用計画

三田市中内神所在の土地活用について、引き続き研究をすすめてきた。
現在の土地をできる限り整備し、農園活動により多くの人の参加を促した。

法人・施設経営研究

川原経営総合センター（東京都）と人事制度構築支援業務の委託契約を結び、理事長、理事、施設長、職員らが研究会や研修会を行った。

25年4月10日、9月14日、26年2月8日

10 平成25年度重点事業
理念の明文化

管理職の能力開発、強化研修の一環として、LCC チーム経営 長尾文雄さん博野英二さんの指導により、理念の明文化をすすめた。

「私たちは、すべての人が寄り添い、認め合い、支えあい、人間をこよなく
尊び、生きる喜びと希望に満ちた社会をつくります」

上記理念（案）を作成し、次年度に推敲し、行動規範を作成することとした。

新会計移行 ネットワークシステムの構築

新会計についての勉強会は、職員体制と資質を考慮して2回で中断した。

25年度移行計画を変更し26年度実施とした。

VPNによるネットワークは稼働し、有効に活用している。

求人人材育成

少子高齢化現象が顕著になり、新卒者の採用がたいへん困難になった。

職員のメンタルヘルスケアの必要性が顕著になり、対応が必要になった。

求人方法・人材活用方法の発想転換が必要になり、規則等の対応もすすめた。

人事管理システムの稼働

平成25年度から評価システムを稼働させ、平成26年3月末には評価にもとづき、昇給昇格を実施する予定であった。しかし、各施設の取り組みにばらつきがあり、評価に対する十分な合意が得られず、評価シートの工夫や評価方法の検討を行い、試行してみたが、今期有意性のある評価結果は得られなかった。

評価方法の再検討が必要と判断した。

II 「はりま自立の家」

事業の内容

- (A) 障害者支援施設 施設入所支援・生活介護
- (B) 短期入所事業
- (C) 居宅介護・重度訪問介護事業
- (D) 児童デイサービス事業
- (E) 福祉ホーム「ローズハウスはりま」

A)障害者支援施設「はりま自立の家」

施設の概要 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

所在地	兵庫県宍粟市一宮町伊和 8 7 2 番地 4 8		
敷地面積	9,215.33 m ²	施設面積	3,417.34 m ² (含職員宿舎)
施設認可・事業開始年月日	昭和 56 年 11 月 1 日		
定員(現員)	施設入所支援	50 名(48 名)	
	生活介護	60 名(登録 71 名)	
管理者	鷲尾京子		

入居者、通所者の状況

施設入所支援	入所	1 名(福祉ホーム「ローズハウスはりま」から移行)			
	退所	2 名(福祉ホーム「ローズハウスはりま」へ移行 1 名、死亡 1 名)			
生活介護	通所	4 名	退所	1 名(死亡)	
施設入所支援	障害程度区分	平均 5.6	平均利用者数	46.8 人	年間延べ 17,084 人
	平均年齢	48.8 歳	平均在所年数	21.6 年	
生活介護	障害程度区分	平均 5.5	平均利用者数	41.4 人	年間延べ 15,105 人
	平均年齢	30.2 歳			

職員の状況

管理者 1 名、サービス管理責任者 2 名、生活支援員 42(23)名
看護師 6(3)名、栄養士 3(1)名、調理員 6(2)名、事務員 2(1)名、
医師 4(4)名、PT 等 3(3)名、宿直員 1(1)名 () 内非常勤職員
正職員 32 名 非常勤 1 種職員 6 名 2 種職員 25 名 3 種職員 7 名
計 70(38)名 平成 26 年 3 月 31 日現在

正職員として管理栄養士 1 名採用。事務員 2 種職員 1 名採用。

生活支援員 3 名が出産のため、1 名退職、2 名産休・育休に入ったため、1 種職員 4 名、2 種職員 1 名採用し補充。年度末に 1 種職員 1 名退職。

「しろう自立の家」の栄養士が産休・育休に入ったため、調理師 1 名を 3 か月間、栄養士(2 種職員)1 名を 7 月より出向させた。

5月より宿直員を配置したため、宿直専門員を1名採用した。

施設財務の状況

入居者1名が7月に死亡退所、長期入院が1名あったが、生活介護利用者が増加したため、大きな減収にはならなかった。財政は安定しており、本館廊下のガラス天井に日除け設置、隣地の山林購入、木の伐採を行った。修繕積立金、剰余金も残った。

その他 重点事項等

日中活動プログラム 31種(月間) 旅行 14回 33名

地域のシニアのボランティア活動が始まり、定期的にプログラム活動の手伝いのほか、不定期な活動など柔軟な協力が得られるようになった。

職員の資質向上に向けて、外部研修に参加させた。18研修会に19名。延べ39日。

資格取得も奨励し介護福祉士3名合格。ヘルパー2級取得者2名。

隣地の山林を購入し、木の伐採をしたため日当たりも景観もよくなり、将来の夢が出来た。

(B)短期入所事業

短期入所 利用実人員 障害者 22名、障害児 8名 利用延べ日数 1,046日

日中一時支援事業(宍粟市) 利用実人員 障害児 14名 利用延べ日数 349日

(C)居宅介護・重度訪問介護事業

居宅介護 登録 3名 年間延べ派遣時間 2,682時間

重度訪問介護 登録 7名 年間延べ派遣時間 11,916.5時間

移動支援 登録 10名 年間延べ派遣時間 309時間

職員の状況(平成26年3月31日現在)

管理者1名、サービス提供責任者1名、介護職員 10(7)名 ()内非常勤職員

正職員5名 非常勤 1種職員4名 2種職員3名 計12(7)名

介護職員3名(正職員1名、非常勤2名)が同時期に退職し、10月より正職員1名が病欠したため、派遣時間が十分に確保できず、収入が減った。1種職員1名、2種職員1名を採用し、病欠していた職員も3月にはほぼ復帰できた。

(D)児童デイサービス事業

児童発達支援 登録人数 20名 年間延べ訓練回数 400回

(内宍粟市委託児童 7名 年間延べ訓練回数 59回)

放課後等デイサービス 登録人数 29名 年間延べ利用回数 1,359回

内 療育訓練	登録人数 13 人	年間延べ訓練回数 192 回
(内宍粟市委託児童 2 名 年間延べ訓練回数 10 回)		
内 療育訓練及びデイサービス	登録人数 6 名	年間延べ利用回数 564 回
放課後等デイサービス	登録人数 10 人	年間延べ利用回数 603 回

職員の状況(平成 26 年 3 月 31 日現在)

管理者 1 名、児童発達支援管理責任者 1 名、保育士 1(1)名、指導員 3(3)名
 理学療法士 2(2)名、作業療法士 3(3)名、聴覚言語療法士 2(2)名
 正職員 2 名 1 種職員 4 名 派遣職員 7 名 計 13(11)名

()内非常勤及び派遣職員

(E)福祉ホーム「ローズハウスはりま」

施設の概要 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

所在地	兵庫県宍粟市一宮町伊和 863 番地 50
敷 地	1,445 m ² (宍粟市より無償貸与)
建 物	木造平屋建て 719.3 m ²
事業開始年月日	平成 18 年 10 月 1 日
定員 (現員)	入所 10 人 (10 人)
管理者	鷺尾京子
職員	栄養士(兼務) 1 名

入居者の状況等

入居者 入所 1 名 退所 1 名 (「はりま自立の家」間での移行)

朗読ボランティアの定期的な活動が始まり、茶道教室が再開した。

Ⅲ 「はんしん自立の家」

事業の内容

- (A) 障害者支援施設 施設入所支援 生活介護
- (B) 短期入所事業・児童短期入所事業・日中一時支援事業
- (C) ホームケアサービス(居宅介護・訪問介護サービス)
- (D) トラファルガー・スクウェア (小規模作業所)

(A)障害者支援施設「はんしん自立の家」

施設の概要(平成 26 年 3 月 31 日現在)

所在地 兵庫県宝塚市美幸町 11 番 16 号
敷地面積 3,447.88 m² 施設面積 2,702.74 m² (含職員宿舎)
施設認可・事業開始年月日 昭和 60 年 7 月 1 日
定員(現員) 定員 施設入所支援 50 名(50 名) 生活介護 60 名(51 名)
管理者 石田英子

入居者、通所者の状況

入所 2 名 退所 2 名
生活介護 障害程度区分 平均 5.5 平均利用者数 49.6 人 年間延べ 13,354 人
施設入所支援 障害程度区分 平均 5.5 平均利用者数 48.9 人 年間延べ 17,854 人
平均年齢 52.6 歳 平均在所期間 19 年 3 月

職員の状況

管理者 1 名・サービス管理責任者 1 名・生活支援員 35 (17) 名
看護師 3(1)名・栄養士 4(1)名・調理員 5 (5) 名、事務員 2 (1) 名、
医師 4 (4) 名、介助員 1 名 計 56 名 () 内非常勤職員及びアルバイト
正職員 29 名 非常勤 1 種職員 3 名 2 種職員 12 名 3 種職員 4 名
4 種職員 8 名 計 57 名 平成 26 年 3 月 31 日現在
25 年度は常勤職員できず。年度末までに 8 人退職した。内 1 名定年退職、栄養士 4 名。

施設財務の状況

入居者の長期入院や長期帰省がなく、利用率が 98%と高く、収入は安定していた。大規模な改修工事設備整備もなく、支出も安定していた。職員配置基準内であったが、職員の確保がたいへん困難になり、人件費を執行できず、剰余金が残った。修繕積立金もできた。

助成事業

宝塚市社会福祉協議会・宝塚市共同募金会「歳末愛の持ち寄り運動」より配分を受け、デジタルカメラ購入・新年獅子舞・サロンコンサート開催を開催した。

その他 重点事項等

痰吸引等医療的ケア充実のための研修終了者 1名

災害時の地域連携構築推進をすすめたが、地域は高齢者と外国人が多く、自衛が必要と理解した。

地域移行し、自立生活開始者 1名

職員確保が困難となり、調理技術も低下しているため、調理業務を委託するべく26年3月31日で調理部門を廃止した。

人材確保のため、非常勤職員・アルバイトを増員した。

ケアマネジメントの推進を円滑にするため、勉強会を開催した。

(B) 身体障害者短期入所事業・児童短期入所事業 日中一時支援事業

登録人数 148人 実利用人員 47人 短期入所事業利用延べ日数 1,933日

日中一時支援事業 25年度はなし。

(C) ホームケアサービス(居宅介護・訪問介護サービス)

介護保険事業所「はんしん自立の家」ホームケアサービス(平成17年5月1日指定)

稼動 なし

障害者居宅介護「はんしん自立の家」ホームケアサービス(平成17年5月1日指定)

登録3人 週7日 358時間稼動

宝塚市地域生活支援事業 移動支援

登録1人 2時間

(D) トラファルガー・スクウェア(小規模作業所)

施設の概要

所在地 兵庫県宝塚市高司5丁目5-1

建物(借家) 66㎡

事業開始年月日 平成19年11月1日

定員(現員) 利用者 5人(5人)

管理者 石田英子

助成事業

宝塚市社会福祉協議会・宝塚市共同募金会「歳末愛の持ち寄り運動」より配分を受け、DVDプレーヤー・絵本を購入し「絵本をよむ会」や大学生のちんどん屋によるイベントを開催した。

IV 「しそ自立の家」

事業の内容

- (A) 障害者支援施設 施設入所支援 生活介護
- (B) 短期入所事業
- (C) 就労継続支援B型事業
- (D) 共同生活援助事業
- (E) 小規模作業所

(A)障害者支援施設「しそ自立の家」

施設の概要 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

所在地 兵庫県宍粟市波賀町小野 502 番地 5
敷地面積 5,598.14 m² 施設面積 2,411.05 m² (含グループホーム職員宿舎)
施設認可・事業開始年月日 昭和 7 年 10 月 1 日
定員(現員) 施設入所支援 50 名(45 名)
生活介護 50 名(登録 61 名)
管理者 坂口信裕

入居者、通所者の状況

施設入所支援 入所 1 名 退所 1 名(死亡)
生活介護 施設入所支援の異動にともない退所 1 名(死亡)

施設入所支援 障害程度区分 平均 4.86 平均利用者数 43.8 人 年間延べ 15,988 人
平均年齢 48.5 歳 平均在所期間 15.4 年
生活介護 障害程度区分 平均 4.71 平均利用者数 37.3 人 年間延べ 13,627 人
平均年齢 45.7 歳

職員の状況

管理者 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 34 (17) 名
看護師 2 (2) 名、栄養士 2 (1) 名、調理員 6 (5) 名、事務員 2 (1) 名
医師 1 (1) 名 () 内非常勤職員
正職員 22 名 非常勤 1 種職員 6 名 2 種職員 20 名 3 種職員 1 名
計 49 (27) 名 平成 26 年 3 月 31 日現在

正職員として生活支援員 1 名採用。栄養士 1 名(正職員)が産休に入った。そのため栄養士兼調理員 1 名(1 種職員)を採用した。「はりま自立の家」から調理員 1 名・栄養士 1 名(2 種職員)の出向を受けた。元職員 1 名を生活支援員 2 種職員として採用した。
正職員 生活支援員 1 名が年度末に退職した。

6月より夜間の職員配置を、夜勤者1名、宿直者1名とした。

施設財務の状況

入居者の長期入院や長期帰省があったが、生活介護の利用者が増えたため収入には大きな影響はなかった。

農園活動や参加する利用者の移動に使用するトラック1台、荷物運搬に使用する軽トラック1台を購入した。

その他 重点事項等

東京おもちゃ美術館と無印良品が企画し販売する「日本のおもちゃ」に木工活動部が「でんわのおもちゃ」で参加し、全国の無印良品の店舗での販売が開始した。

法人研修「中堅職員研修」を主任候補、副主任候補の2名が受講。

(B)短期入所事業

短期入所 利用実人員 10人 利用延べ日数 510日

日中一時支援事業（宍粟市） 利用実人員 8人 利用延べ日数 98日

(C) 就労継続支援B型事業 「チェシャーパーカリー」

施設の概要（平成26年3月31日現在）

所在地 兵庫県宍粟市山崎町木ノ谷5番地1

敷地 長澤産業株式会社所有地

事業開始年月日 平成20年4月1日

定員（現員） 10名（7名）

管理者 坂口信裕

サービス管理責任者1名、職業指導員1名、生活支援員2(2)名 ()非常勤職員
正職員3名 非常勤 1種職員1名 2種職員1名 計5(2)名

(D) 共同生活援助事業 「グループホーム「楽」

施設の概要（平成26年3月31日現在）

所在地 兵庫県宍粟市波賀町小野605番地1

敷地 912.23㎡

事業開始年月日 平成24年4月1日

定員（現員） 利用者 7人（7人）

管理者 坂口信裕

サービス管理者（兼務）1名、世話人4(4)名 ()非常勤職員

正職員2名 非常勤 1種職員2名 2種職員2名 計6(4)名

補助事業

平成25年度社会福祉施設等防災整備事業 スプリンクラー整備工事を実施した。

(E) 小規模作業所「チェシャージュップ」

施設の概要 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

所在地 兵庫県宍粟市山崎町木ノ谷 5 番地 1

敷地 長澤産業株式会社所有地

事業開始年月日 平成 18 年 11 月 1 日

定員 (現員) 利用者 5 名以上 (6 名)

管理者 坂口信裕

生活支援員 3 (3) 名 () 非常勤職員

正職員 1 名 非常勤 1 種職員 1 名 2 種職員 2 名 計 4 (3) 名

助成事業

宍粟市社会福祉協議会「平成 25 年度共同募金配分金事業」より配分を受け、カフェテーブルセットを購入し、喫茶コーナーに設置した。

V さんだ子ども発達支援センター「かるがも園」

事業の内容

- (A) 児童発達支援センター「かるがも園」(三田市受託事業)
- (B) 児童発達支援事業「すくすく教室」(三田市受託事業)
- (C) 障害児等療育支援事業(兵庫県受託事業)・相談支援事業(三田市受託事業)
・障害児相談支援事業・特定相談支援事業「さんだ子ども発達支援サービス」
- (D) 「子ども発達支援センター」の運営(法外施設)

(A)児童発達支援センター「かるがも園」

施設の概要(平成26年3月31日現在)

所在地	兵庫県三田市井ノ草808番地		
敷地面積	4,448.92㎡	施設面積	950.22㎡
施設認可・事業開始年月日	平成10年4月1日		
定員(現員)	30名(30名)		
管理者	平井真由美		

通園児の状況

入園	15名	卒園・退園	15名
平均利用児数	25.8人	年間延べ	5,696人
平均年齢	4.9歳	平均在籍期間	1.9年

職員の状況

管理者1名、児童発達支援管理責任者2名、児童指導員・指導員1(8)名、保育士2名(4名)、看護師1(3)名、栄養士兼調理員3名、事務員2(1)名、相談支援専門員兼児童指導員1名、相談支援員1名、用務員(3名)、嘱託医1名、計34名()内非常勤職員
正職員14名 非常勤1種職員2名 2種職員17名 計33名 平成26年3月31日現在
年度末に7人退職した。

施設財務の状況

職員の欠員があり、人件費を執行できず、三田市指定管理料のうち人件費減額分を返納した。施設・設備等の修繕、パソコンの入れ替え、人材確保のための費用等が必要であり、三田市の了解を得て、前期まで繰り越していた指定管理料剰余金を充当した。

助成事業

日本社会福祉弘済会より助成を受け、冊子「きょうだい・家族の思いと支援」を作製した。

その他 重点事項等

通園児の発達支援を効果的に行うために、発達評価・個別発達支援計画・保育計画・相談支援の業務の連携を図った。

医療的ケアの必要な在宅児童の保護者に対して、関係機関と連携して相談支援を行った。人材確保のため、非常勤職員を増員した。

職員ケアのため、懇談会や外部講師による個別面談を実施した。

「15周年記念のつどい」を開催し、卒園・退園されたお子さまとご家族、関係者約330人が集まった。また、第1回ホームカミングデイを実施した。

(B) 児童発達支援事業「すくすく教室」

登録人数 62人 実利用人員 50人 年間利用延べ人数 1,445人
親子通園により、小集団での保育と療育訓練を実施した。

(C) 「さんだ子ども発達支援サービス」

障害児等療育支援事業（兵庫県受託事業） 650件実施

相談支援事業（三田市受託事業） 644件実施

障害児相談支援事業・特定相談支援事業

サービス等利用計画策定・モニタリング 159件実施

(D) 「子ども発達支援センター」の運営

施設の概要

所在地 兵庫県三田市井ノ草字松ヶ崎 803番地・808番地、

兵庫県三田市長坂字北畑 160番の3

建物面積 429.4 m²

事業開始年月日 平成13年4月1日

公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団と協力し、療育事業の実施、療育研修会・保護者研修会の開催、職員のための研修等を行った。